



▼2月29日、保健福祉センターで、市連合婦人会による市政会議が開かれました。参加した約200人は市の管理職らから各課の業務内容や課題の説明を受け、学んだあと、婦人会活動の実践報告などを行いました。

▼3月3日、老人保健施設「夢の里」ケアポート南国を京都の舞子さん、勝恵美(かつえみ)さんが訪問。お年寄りを回しました。



▼3月6日、吾岡山で「文化の森公園」事業の本格的な開始にあたり、安全祈願祭を行いました。吾岡山に多目的広場や花き公園を整備し、市民の憩いの場にしようというもので、平成3年度完成予定。

▼ボランティアで弁当づくりに取り組む皆さん(大塚地区ふれあい会)



▼2月23日、し尿処理施設「市環境センター」の落成式が行われました。同センターは年金積立金還元融資を受けて建てられたもので鉄筋コンクリート地下1階、地上2階の処理棟と二階建ての管理棟からなります(延べ面積計2,860㎡)。昨年10月から試運転を開始し、順調に機能することから2月初旬に市が引き取ったものです。



▼3月3日、舟入川、新川川、藤川の一斉清掃が行われ、朝早くから周辺の住民らが清掃作業に汗を流しました。



▼岡豊町の笠の川老人クラブでは、毎月2回公民館を使い、割りばしの袋詰め作業を行っています。これは、何か人の役に立つことをしたいと始まったもので、なんこく共同作業所の援助を目的に、ボランティアで行っているもの。作業中もみんなにぎやかで、笑いが絶えません。作業が終わったあとはカラオケなどで親睦を深めているそうです。

▶2月23日、恒例の市子ども会連合会の人形劇キャラバン隊が、市内13小学校と南海学園を巡回。「星にとどいたSOS」を上演しました。これは、いじめっこといじめられっ子がタイムマシンで旅するうちに、優しさや勇気を身につけるというストーリーで、人形なども含めすべて手作り。6年生は「毎年楽しみだった人形劇を見るのも今年で最後。さみしい」と話していました。



▶2月25日、スポーツの振興に功労があったり、優秀な成績をおさめた個人や団体を、市体育協会が表彰しました。今年は市町村対抗駅伝で優勝を飾った南国市Aチームなど、7団体、9個人が表彰されました。

▲8月23日、消防団員を対象にした普通救命講習が行われました。応急処置のための人工呼吸や心臓マッサージができるようにと開かれたもので、参加した約50人は熱心に指導を受けていました。



▶香北町のセレネで、国保加入者を対象に、4月5日まで5回、新しい健康法「アクアエクササイズ」が開催されています。参加者は水中で全身の筋肉を無理なく動かすこの体操で心身共にリフレッシュ。



▼平成14年開催の高知国体に向け、2月28日、市国体準備委員会を設立。会長に浜田純市長を選びました。同委員会は市関係者や市議、県議、各種団体からの101人で構成。今後、具体的な課題などを検討しながら、開催準備を進めることになります。



▼2月25日、市民体育館を会場に土佐はし準全日本選手権南国場所が開催されました。県内各地から参加した約90チーム270人は、お酒も入り「さあ、いらっしゃい」と威勢のいいかけ声と共に熱戦を繰り広げました。